

保存版

非常災害時の基本的な方針について

日頃より、本校の教育にご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、地球温暖化の影響により、近年、大型台風、大雨、雷、暴風、豪雪などの急な天候変化が多く発生しています。学校といたしましては、児童の安全を最優先し、下記のような方針で対応していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

- 1 前日の段階で、登下校時刻の変更、もしくは臨時休業と判断できる場合には、
文書と連絡メールにてお知らせします。
- 2 急な天候変化により、登下校の安全確保が難しいと判断される場合には、保護者の判断で登校見合わせ、または、学校で児童をお預かりすることとします。

*具体的には、下記のような状況を想定しています。

- ☐ 風雨が強く、登下校の危険が予想される場合（雷・竜巻等も含む）
- ☐ 積雪が著しい場合
- ☐ 強い地震が発生した場合
- ☐ 周辺で犯罪や事件等が発生した場合
- ☐ その他

- (1) 登校時に上記のような危険があった場合には、保護者の判断で自宅待機をお願いいたします。その際、通学途中の事故を防ぐため、学校への電話連絡をお願いいたします。この場合、遅刻にはいたしません。
- (2) 下校時に上記のような危険があった場合には、校長の判断で学校にて児童をお預かりしたり、引き渡したりする場合があります。その際は、連絡メールを配信します。

3 その他

- (1) 今後も児童の安全を最優先した対応をすすめてまいります。
- (2) 「連絡メール」への登録がまだの方は、ぜひ早急に登録していただけますようお願いいたします。

*問い合わせ先

木更津市立祇園小学校 98—3158

非常災害時(地震)の対応について

日頃より、本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、学校では非常災害時を想定した訓練を積み重ねています。

つきましては、児童の安全を第一に考え、保護者の皆様と学校とで、以下の内容について共通理解を図りたいと思いますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1 児童が学校にいる場合

木更津市の震度が5強以上の場合は、「引き渡し」をします。

※震度が5強未満であっても、状況により（道路や家屋の損壊等）、「引き渡し」を実施することがあります。

※「引き渡し」ができる状況で、保護者の迎えが困難な時は、お子さんは学校で預かります。

※状況により「引き渡し」を実施せず、一斉下校する場合もあります。

（一斉下校をする際は、安全を確認した後、方面別に教師が途中まで付き添います）

学校待機・引き渡し・一斉下校については、連絡メールでお知らせしますが、連絡メールが不通になることも考えられます。その場合は、震度5強以上は「引き渡し」と考え、来校してください。

2 児童が登下校途中の場合

○児童への指導

- ・ランドセルで頭を守り、崩れそうな塀や壁から離れ、その場でしゃがむ。
- ・自動車の動きや、上から落ちてきそうな物はないか、まわりをよく見る。
- ・近くの友達と一緒に、落ち着いて行動する。
- ・地震がおさまったら、
 - ①（家の方が近いときは）家に帰る。
 - ②（学校の方が近いときは）学校に戻る。

※ 困ったとき、わからないときは、学校に戻るよう指導します。

3 児童が下校後、自宅にいる場合

災害はいつ起こるかわかりません。また、常に大人がお子さんのそばにいるとは限りません。普段から、非常災害時にはどうするかを、ご家庭で共通理解しておくことが大切です。心の準備をしておくことで、落ち着いて行動できることを、ご家庭でもお話しください。

（例）誰もいないとき大きな地震があったら

- ・まずは頭を守る
- ・家具などが倒れてくることがあるので、家具や窓から離れる
- ・近所の〇〇さんの家に行く
- ・学校に行く
- ・公民館に行く 等

《お願い》

非常災害時の学校への迎えは、徒歩を原則とします。交通事故等の二次災害を防ぐために、ご理解とご協力をお願いいたします。